

## Q&A

### Q1. 一斉測定する場所はどこでも大丈夫か。

A1. 県内の屋外の日の当たる場所であれば、特に指定はありません。測定場所は記録・報告していただきます。また、毎回場所が同じである必要もありません。

### Q2. 一斉測定以外の目的で利用してよいのか。

A2. 一斉測定に3回以上御参加していただけるのであれば、それ以外の時間は自由にご利用いただけます。野外活動での熱中症予防として、室内空調温度設定の目安として、県内や身の回りの暑さを知るための学習としてなど、ぜひ積極的に御活用ください。

### Q3. 費用はかかるのか。

A3. 無料でご参加いただけます。暑さ指数計の郵送料も県が負担します。

ただし、付属の電池が電池切れとなった場合の交換費用(単四電池2本)や測定結果報告用のウェブサイトでの報告にかかるデータ通信料は、参加者様のご負担となります。

### Q4. 簡易暑さ指数計はどのようなものか。小学生でも使うことができるものか。

A4. 簡易暑さ指数計は、「熱中症指数モニターみはりん坊プロ (株)エー・アンド・デイ)」を貸し出す予定です。

([https://www.aandd.co.jp/products/electronic/hygrothermograph/wbgt\\_monitor/ad5698/](https://www.aandd.co.jp/products/electronic/hygrothermograph/wbgt_monitor/ad5698/))  
スイッチを押すと暑さ指数が約20秒ごとに表示されます。記録機能はありませんので、目視で測定値を確認する必要があります。構造や使い方は簡単なものなので、小学生でも使うことができると考えられます。

参加者様向けに暑さ指数計の使い方や測定結果報告用のウェブサイトの入力方法等の説明会を7月下旬にオンラインで開催する予定です。

### Q5. 測定にはどれだけ時間がかかるのか。

A5. 15分前後かかります。

測定値自体は約20秒ごとに表示されますが、周囲の環境に馴染むまで、暑さ指数計を15分程度、測定場所(日の当たる屋外)に置いておく必要があります。その間は、屋外で待つのではなく、必ず屋内で待機するなど熱中症には十分注意してください。

### Q6. 一斉測定日に雨が降ったらどうするのか。

A6. 暑さ指数計に防水機能はありませんので、軒下などの雨に濡れない場所で可能な範囲で測定してください。

**Q7. 必ず 13 時 00 分の暑さ指数を測定し、報告しなければならないのか。**

**A7.** 13 時 00 分ちょうどである必要はありませんが、できるだけ 13 時前後の暑さ指数を報告してください。少なくとも 12 時 30 分～13 時 30 分の間には、測定するようにお願いします。

**Q8. 測定結果報告用のウェブサイトはどのようなものか。スマートフォンからも入力可能か。また、ウェブサイトでの報告ができないと、参加できないものか。**

**A8.** 測定結果報告用のウェブサイトは、パソコンとスマートフォンどちらでも利用が可能なもので準備を進めています（ウェブサイトでの報告等にかかるデータ通信料は参加者様のご負担となります）。ArcGIS Survey123 というサービスを利用し、報告いただいた暑さ指数を地図上に表示・共有できる仕組みとする予定です (<https://www.esri.com/products/survey123/>)。

また、ウェブサイトを利用した報告が困難な方については、調査票に測定結果を記入し、暑さ指数計の返却時に合わせてご提出いただけるようであれば、参加可能です。

測定結果報告用のウェブサイトの詳しい説明は、参加者確定後、別途ご案内します。